

学区社会福祉協議会の取組み紹介

古市学区

健康で安心・安全な福祉の町づくりに 役立つ社協を目指して

古市学区の特色や福祉のまちづくり活動等を古市学区社協の依田操一会長、山口高正地域福祉推進委員に、お聞きしました。

Q.「古市」のまちについて教えてください。

A.古市の地名は、古くから東西南北の交通の要衝で、人と物が集まることにより市をなしていたことが由来だと言われています。昔から麻が有名で、古市小学校の4年生は社会勉強で麻について勉強をしていて、地域の人が「おこぎうた」を教えたりしています。

また、バレーボールが盛んで、全国大会優勝や、オリンピック選手を輩出したこともあります。昭和の初め頃から父親は仕事、母親はおこぎ(麻のケバを取る仕事)

で家が留守がちになりましたが、子どもが家に帰ってからヤンチャをしないよう、当時の校長先生がバレーボールを普及させたのが始まりだと言われています。



▲古市小学校での社会勉強の様子

Q.古市学区社協の特色ある行事や地元企業との関わりについて教えてください。

A.社協行事としては、敬老会と安佐南区民まつりでの共同募金があります。区民まつりでは民生委員と一緒にっており、区民まつりの入り口で来場者に共同募金の協力をお願いしています。民生委員のみなさんと普段から地域の話し合い等を通じてコミュニケーションを取っています。

また、隔月で福祉のまちづくり委員会を開催し、平成22年度に策定した「福祉のまちづくりプラン」の取り組み状況の検証や今後

の活動方針や課題についての話し合いを行っています。

古市には多くの企業がありますが、地域貢献として車の販売会社((株)アンフィニ広島安古市店)が始業前に自治会の清掃活動に協力されたり、介護関係の事業を行う会社(日本基準寝具(株)エコール事業部)からは車いすを寄附していただいたこともあります。このような企業との繋がりを大事にしていきたいです。

Q.古市学区社協の会長、地域福祉推進委員として思うことは?

A.依田会長:今年度、新しく会長に就任しました。古市学区社協の取り組みの中で、地域で必要なこと等を福祉のまちづくり委員会で検討しつつ、これまで取り組んできたことを発展的に継続していきたいと思っています。現役時代の仕事でも「地域の困りごとの問題解決に力を貸すこと」が任務でした。その経験を活かして頑張りたいと思います。

山口地域福祉推進委員:世話をするのが好き、相手に喜ばれることが自分の喜びという人が増えるといいと思っています。世話をすることで人との繋がりを通じているいろいろなことを知ることができる



▲右から依田会長、山口地域福祉推進委員

安北学区

ふれあい・つながりを発信して 盛り上げるまちづくり

Q.安北学区社協はコミュニティ活動を積極的に行っているとお聞きしました。その中で「三世代ふれあいまつり」は今年で10周年になるのですね

A.上田会長:安北学区社協では「安北納涼夏まつり」「安北町民スポーツ大会」「三世代ふれあいまつり」をコミュニティの三大活動として取り組んでいます。そのうちの「三世代ふれあいまつり」

は、私が会長職に就任した時「交流する行事が何か無いといけない!」と思い、元々行っていた敬老会の形を活かして子ども

たちと大人の交流の場を催しました。毎年多くの方にご協力・ご参加いただき、参加者の皆さんから「今年も楽しかったよ!」「また来年も来たい!」という声を聞くと、とてもうれしくなります。



▲昨年の安北三世代ふれあいまつりの様子

Q.「三世代ふれあいまつり」を続けて感じたことはありますか。

A.上田会長:顔が見える関係になり、お互いに「ほっとけない」気持ちになるきっかけになります。別の行事の活気にもつながり、とても素晴らしい学区だなと改め

て感じています。三大事業は一つでも欠けたら魅力が無くなるので、続けることが皆さんへの「恩返し」になると思っています。

Q.行事や催し事などを皆さんに伝えるために広報紙・ホームページなど情報発信にも力が入っていますね

A.乗藤地域福祉推進委員:広報紙発行は100号を超えて、ホームページは閲覧者合計150,000人以上にもなりました。写真を多く使用、文字を大きくするなど工夫をしています。情報共有はつながるきっかけになるので、今後も様々な情報を皆さんに伝えていきたいです。

稲葉事務局次長広報:私は広報担当になることをきっかけに社協に入りました。それにより地域の方

とたくさん関わることができ、サロン活動にも携わるようになりました。つながることの素晴らしさが情報を伝えるやりがいの1つにもなっています。



▲発行している広報紙・コミュニティカレンダー

Q.「つながる」ということにとても意識しておられるように感じました

A.上田会長:「自分のことじゃないから知らない」ではダメだと思っています。最低限の事はみんなで共有しておく必要があり、事務局が積極的に動かないと盛り上がりがないと考えています。今後は高齢の方の見守り活動も積極的に行い、いろんなつながりの中で住みやす

いまちを目指していきたいです。



▲左から上田会長、乗藤地域福祉推進委員、稲葉事務局次長広報

安北学区社会福祉協議会 ホームページ
<https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/yasukita>

介護予防・日常生活支援総合事業について(その3)

住民主体型生活支援訪問サービスとは、簡易な生活支援があれば、居宅で自立した生活を送ることが可能な要支援者等に対し、地域団体等が、家事の援助に加え、これまで介護保険で活動できなかった生活支援を行うことです。活動については助成金があります。依頼としては「庭の草取り・剪定」がもっとも多く、地域のボランティアさんがいるんな「困った」の声に対して日々活動しています。「自分の地域でできることないかな」と思った方は気軽に安佐南区社協へご連絡ください。

(生活支援コーディネーター 江角 友希)

団体名	活動圏域
原南学区社協	原南学区
ボランティアバンク「はらみなみ」	
安学区社協	安学区
ボランティアバンク安らぎ会	
安東学区社協	安東学区
戸山学区社協	戸山学区
NPO法人さわやかあ広島	安佐南区



安佐南区 ボランティアセンター通信

ボランティア入門講座のご案内

●点訳ボランティア入門講座

点字は、視覚に障がいのある方々が触って読む文字です。みなさんが目で文字を読んで、色々なことを知ったり、伝えたりするのと同じように、点字は見えない、見えにくい人にとって大切な文字です。みなさんも身のまわりにある点字の存在に気付いたことはありませんか？文章を点字にする方法を学び、ボランティア活動を始めてみませんか？

日時 令和元年9月26日から10月31日まで 毎週木曜日10:00～12:00(全6回)

参加費 無料 定員 20名

場所 安佐南区総合福祉センター

申込 9月19日(木)までに電話、FAX、E-mail、QRコードにて



第10回安佐南区ボランティアまつり中止のお知らせ

安佐南区社会福祉協議会では、総合福祉センターの改修工事に伴い、安全確保ができない可能性があるため、残念ながら、9月22日(日)に予定していた「ボランティアまつり」を中止とさせていただきます。楽しみにされていた皆さまには、誠に申し訳ございませんが、何とぞご了承の程よろしくお願い申し上げます。



災害義援金のご報告

安佐南区内の学区(地区)社会福祉協議会等から義援金の受付を行いました。

平成31年3月31日現在

名	称	単位:円
1	平成30年大阪府北部地震災害義援金	153,279
2	平成30年7月広島県豪雨災害義援金	5,457,244

なお、「平成30年7月広島県豪雨災害義援金」は、引き続き、令和2年6月30日まで受け付けております。



赤い羽根共同募金のお礼

赤い羽根共同募金



ひとりひとりのやさしさが、あなたの住むまちをもっと、やさしくしてくれます。皆さまから寄せいただく「赤い羽根共同募金」は、地域福祉活動(近隣ミニネットワークづくり推進事業、ふれあいいきいきサロン設置推進事業、地区ボランティアバンク活動推進事業)や高齢者・障がい児・子育て支援等に役立てられています。また、大規模な災害が起こった際に「災害ボランティア活動支援」など、被災地を応援するためにも使われています。

平成30年度共同募金実績額(安佐南区) **15,071,105円** 平成31年3月31日現在

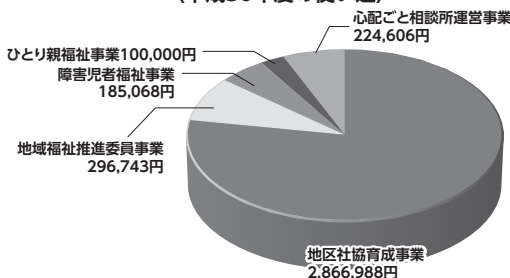
募金をご協力いただいた地域の皆様、活動にご尽力いただいた関係者の皆様にお礼申し上げるとともに、今後とも「じぶんの町をよくするしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしくお願いします。

安佐南区社会福祉協議会 正会員会費 募集

安佐南区社会福祉協議会では、学(地)区社会福祉協議会を通して区民の皆さまより、平成30年度は、52,360世帯・計2,618,000円(一口50円)の会費をお寄せいただき、学(地)区社協活動の活性化を目的とした助成制度や、地域福祉を目的とした福祉活動の推進強化に活用しました。皆さま方のご支援、ご協力に対して、厚くお礼を申し上げます。

なお、現行の支援活動や当事者活動への支援活動が本来の目的に合っているのか、また、時代に要請される取り組み支援になっているのか見直しも必要に考えております。今後とも、よろしくお願いいたします。

〈平成30年度の使い道〉



『みんなの学校』上映会&木村泰子さん 講演会

大阪市立大空小学校 初代校長

全ての子どもに居場所がある学校作りを目指す大阪市立住吉大空小学校の取り組みです。児童と教職員だけではなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を目指されました。

詳しくはブログをご覧ください

日時 ● 令和元年11月30日(土)
上映12:15～(106分) 講演14:30～(120分)

場所 ● 広島市立大学 大ホール

参加 ● 無料 主催 ● COCOKARA



寄付は地域を支える第一歩

寄付についてのご案内

皆様からの温かいご支援が、福祉の向上への大きな力になります。寄付はそのひとつの方法です。

☆このようなときに、寄付というのはいかがでしょうか？

- 長寿や結婚、金婚式などのお祝いの記念として
- フリーマーケット・チャリティー・バザーなどの収益金を
- グループの忘年会、会合などの会費の一部を
- 香典返しに代えて
- お店などの募金箱から

いただいたご寄付は、下記の事業に使わせていただきます。

☆主な寄付金の使途

- 地域福祉事業 ●障害児者福祉事業
- ひとり親福祉事業 ●ボランティア事業

☆寄付金のお申し込み・お問い合わせ先

広島市安佐南区社会福祉協議会事務局
〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL(082)831-5011 FAX(082)831-5013



お寄せいただいた善意は地域福祉のため、有効に活用させていただきます。
平成30年12月1日(日)まで
令和元年7月31日まで
受付順

一般寄附
妹尾皮膚科医院様
榎本義晴様
広島美しい町協同事業協会様
広島文芸大学様
広島文芸大学様
新本孝一郎様
ありんこクラブ様
他六名様

賛助会員
びしゃもん台絆くらぶ様

お気軽にご相談ください

無料です

安佐南区社会福祉協議会では、生活上のあらゆる困りごと、悩みごとについての相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。下記までお問い合わせください。

弁護士相談

毎月第3水曜日
13:00～15:00(要予約)

金銭トラブル、不動産、家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。

まちの保健室

在宅看護職の会が健康相談を行います。

佐東老人いこいの家
第1・3月曜日
10:30～12:00

祇園福祉センター
第2・4水曜日
13:00～15:00

子育て・サークル相談

不定期 月1回 10:00～14:00

先輩ママ「MaMaぼっけ」による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てサークルのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談にのっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ!

安佐南区くらしサポートセンター

様々な理由により生活に悩みや不安を感じている方の相談窓口です。『長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない』『家計のやりくりが難しい』『借金を抱えて生活が苦しい』などの相談をお受けしています。

所在地 広島市安佐南区中須1-38-13
安佐南区総合福祉センター5階
電話 082-831-1209

電話や来所だけでなく、相談員による訪問相談も可能です。

掲載記事へのご意見・感想・お問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局 〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013 E-mail: asami@shakyohiroshima-city.or.jp